

# ブランド戦略

## 「グランドセイコー/セイコーのブランド戦略」

セイコーウォッチ株式会社  
代表取締役社長  
内藤 昭男



グランドセイコー(GS)は1960年の誕生以来、最高峰の時計を目指し、正確さ、美しさ、見やすさといった腕時計の本質を高い次元で追求し続け、弛まぬ努力と進歩を重ねてまいりました。2010年に海外展開を本格的にスタートし、それまでSEIKOブランドのコレクションのひとつであったものを2017年に独立ブランド化したしました。世界でも数少ない真のマニファクチュールにかなしない世界最高レベルの性能と洗練されたデザインをデジタルマーケティングで積極的に発信し、グローバル市場での認知度も向上し売上げも伸ばしています。2021年には欧州ブランド以外では初となるジュネーブ時計グランプリの「メンズウォッチ」部門賞を受賞し世界に認められると共に、お客様に安心してお使いいただくために全世界で保証期間を5年間に延長する新しいアフターサービスプログラムを導入しました。2022年には日本ブランドで初めて高級時計の見本市「Watches and Wonders Geneva 2022」に参加することで、新たなステージへ進化する姿を発信してまいります。

を備えたブランドです。特にダイバーウォッチは、1965年に国内初のダイバーウォッチとして誕生以来、半世紀以上に渡って弛まぬ進化を続け、世界中のプロフェッショナルダイバーや冒険家から高い評価と信頼を獲得してきました。当社ではダイバーや母なる海への感謝を表すため、また共にサステナブルな世界を実現していくために、2021年よりPADI®およびPADI Aware Foundation™が世界的規模で取り組む海洋保護活動「Marine Debris Program」の支援を開始しました。ブランドフィロソフィー「Keep Going Forward」のもと、あきらめず前へ進み続ける人々を応援し、自らもこの姿勢で時計づくりに挑戦するブランドであり続けます。

ニューノーマル時代に移行し、時計の価値も従来の機能的価値だけではなく求められなくなっています。より人々の心の琴線に触れるような感性的価値を高めたから、時代が求めるサステナブルで持続可能な社会に向けた取り組みである社会的な価値も高い、それぞれ価値を高次元で融合し世界中のお客様に喜んでもらえる時計をこれからも提供してまいります。

セイコープロスペックスはスポーツ、アウトドアシーンに対応する本格機能を

## 変化の時代に即した進化と挑戦を

取締役  
シチズン時計株式会社  
大治 良高



「エコドライブ」においてサステナブルな提案を続けるシチズンは2021年、もう一つのサステナブルな提案として、機械式時計を発表いたしました。  
The CITIZENからは11年ぶりに自社開発した機械式ムーブメントCaliber 2000を搭載したメカニカルモデルを発売。自社開発に加え、余剰のスイスラジューベレ社が保有する高い装飾技術を最大限活用し、高い精度と美しさを兼ね備えたムーブメントを搭載したモデルは、世界中で好意的に受け入れられ、シチズンに対する潜在的な期待と長く待ち望まれていたことを深く実感致しました。  
8年の時を経て、機能性と実用性を兼ね備えた機械式時計のコレクションとして再始動したCITIZEN Series 8も、多くの皆様より反響を頂きました。磁気による時計の時刻精度への影響を防ぐため、耐磁性能を強化。現代人のライフスタイルに寄り添う機械式時計コレクションとなっております。

ライフサイクルの短い商品があふれる現代の消費社会において、永くその価値を維持し、人生に寄り添い続ける存在として、シチズンはこれからも機械式時計を進化させていきます。  
また昨年「ATEAS」では、世界初の民間月面探査プロジェクト「AKTOR」のムーブメント「AKTOR」を発表いたしました。シチズン独自の素材「スーパーチタンTM」はその軽さ、強度、さびにくさの観点から、ランダー(月着陸船)の着陸脚のパーツに採用される予定となっており、今後もシチズンは「AKTOR」のムーブメント「AKTOR」にサポートとして貢献してまいります。

さらに、デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応したライフスタイルの変化に伴い、お客様とのコミュニケーションのあり方も大きく変化を遂げていく必要があると考えております。お客様とのオンラインコミュニケーションの接点づくりを積極的に行い、仕様や価格を伝えるだけではなく、ブランドや商品のコンセプトやヒストリー等、背景も含め商品の魅力を感じて頂ける場を提供する事が重要と実感しています。  
この取組の環として、昨年の時の記念日、オンライン上で時計の魅力に触れ、体験ができるバーチャル空間の街「CITIZEN Thelastus City」を立ち上げました。時計の歴史を語るミュージアムや、動画コンテンツを放映するライブスペースを設けるなど、時計愛好家の方も、時計があまり触れたことのない方も、訪れるたびに新しい発見や体験ができるコンテンツを提供してまいります。  
様々な変化が起こり続ける時代においても、シチズンは「Better Starts Now」の信念のもと、時計業界を盛り上げていく役割を担い、チャレンジと進化を続けてまいります。

## G-SHOCKファンとともに挑戦をし続ける

代表取締役社長  
梶尾 和宏



ウイズコロナを経て、人々の価値観やライフスタイルはさらに多様化しています。当社は唯一無二の「G-SHOCK」ブランドを核に、ユーザー一人一人に合った製品やサービスを提案するOmni channelマーケティングを進め、ファンと深く長くつながり続ける施策を展開しています。  
G-SHOCKは常に挑戦を続けるブランドとして世界中のファンから支持をいただき、昨年度は820万個、累計で1億300万個以上が売れています。ファンとともに新たな可能性を拓く挑戦のひとつとして、昨年10月に当社のカスタマイズサービス「MY G-SHOCK」を開始しました。好みの色のパーツを約190万通りの組み合わせから選んで自分だけのモデルを作れるため、好評をいただいています。また、思い入れのある時計を末長く愛用していただけるよう、保守対応が終了しているG-SHOCKの初期モデルを修理する「レストアサービス」も、期間限定で実施しました。予想を上回るご注文をいただき、多くのファンがG-SHOCKの原点である同モデルに愛着を持って長くお使いいただいていることを大変嬉しく思いました。これからもユーザー皆さまに喜んでいただくため、ファンミーティングや新しいサービスを提供していく予定です。

多様なユーザーの価値観に合わせるため、CMFカラー、マテリアル、仕上げ戦略のもと、モデルモデル向けの新しいカラー表現や新素材、メタルの美しさを引き出す微細な加工技術などを開発し、独自のデザインを提案しています。今後もさらに技術と磨き、進化を続けてまいります。  
社会の健康への関心が一層高まる中、スマートウォッチ市場では、株式会社アンクス様と共同開発したサービス「スマートウォッチ」を開始しました。3月にはランニングフォームを可視化できる「コーチングサービス」(Runnetix)も10月にウォーキング向けアプリ「Walknetix」をリリースしました。これらのサービスと連携する「G-SHOCK」を提供し、スポーツ・健康用途に特化した「スマートウォッチ」に注力してまいります。  
時代の変化に対応した新たな挑戦をし続けることで、そこに新たな市場が生まれます。今後も当社は、価値ある製品に加え、新たなユーザー体験やサービスを提供し続け、時計市場の活性化に貢献してまいります。

## 『新リズムの飛躍の一年目』

リズム株式会社  
代表取締役社長  
平田 博美



昨年、当社中期経営計画(2019年度から2021年度)について、立案した当時とは大きく状況が変化したこともあり最終年度の計画を背景に合わせた方針に修正を致しました。  
見直しの要因としては、収束が見えない新型コロナウイルス感染症とIoT、5G、EV、自動運転等の新テクノロジーの進展の外的要因に加え、業績の悪化、国内基幹3社の合併、組織・セグメント変更等の内的要因も重なったことが挙げられます。

それらの環境、状況を踏まえ、新リズムへ、飛躍に向けた基盤づくりの1年に、そして2022年度から始まる新中期経営計画の土台にするという方針のもと、成長戦略への取組、グループガバナンスの強化、ROEの改善を推進することにより、企業価値の向上と業績回復を果たすことを経営目標とし、各施策に取り組んで参りました。コロナ禍で部材の入手難による製品供給の遅れ、ロックダウンによる稼働制限、緊急事態宣言等による外出自粛や店舗の営業制限等が業績に影響を及ぼしましたが、以前から進めてきた合理化に加え、BtoB事業の受注が回復したことにより、第2四半期の決算では業績を回復させることが出来ました。  
今年は、新年度から始まる中期経営計画に向かって、新リズム飛躍の一步をスタートさせていきます。BtoB事業は、成長するEVや自動運転市場に高難度精密部品、高難度複合部品を、またBtoC事業はクロックの販売集中を進めると共に、新しいライフスタイルにあった快適品の開発販売を強化して参ります。モバイルファンシリーズと高性能超音波加湿器やモバイル機器用防水ケース、アロマディフューザー等を市場へ投入する予定です。  
引き続き皆様の変わらぬご支援を賜ります様、何卒宜しくお願い致します。

最後になりますが、皆様の益々のご発展とご健勝を本年も心から祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 迎春

## 本年も宜しくお祝い申し上げます。



## 創業130周年の節目に

当社は昨年4月に事業統合を行い、セイコータイムクリエーション株式会社として新たなスタートを無事に切ることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物であり、改めて御礼を申し上げます。新生セイコータイムクリエーション株式会社では、シナジー効果を追求しつつ新規事業創出に向けて積極的取り組み、「時の総合ソリューションカンパニー」を目指して、クロック、設備時計、情報表示システム、スポーツ時計、計測、自動化装置といった幅広い分野で「時」に関わる製品、サービスを皆様にご提供してまいります。

本年は当社の源流である精工舎の創業130周年の節目を迎えます。様々な逆風が吹く環境ではございますが、皆様のご期待に沿うべく、新たな価値創造に向けて、全社一丸となり歩み続けてまいります。皆様の相変わらぬご厚情を賜りたく、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

謹んで新年のお祝いを申し上げます。皆様におかれましては、お健やかに新しい年を迎えられたこと、お慶び申し上げます。  
また、旧年中は格段のお引き立てを賜わり、厚く御礼申し上げます。

昨年は1月早々に緊急事態宣言が発出され、決して明るいとは言えない年初でしたが、7月に開幕した東京オリンピック、パラリンピックをアビデで観戦し、日本選手をはじめとするアスリートの活躍に気持ちを明るくされた方も多かったのではないかと思います。ワクチン接種も進み、9月の緊急事態宣言の解除以降、街への人も増え、経済回復への期待も増す一方、半導体不足や原油高といった多岐にわたるコスト上昇に悩まされる状況も続いております。

セイコータイムクリエーション株式会社  
代表取締役社長  
萩原 健一



## 機械式時計に、あたらしい予感。



Japanese beauty,  
crafted into a mechanical timepiece.

# PRESAGE

# SEIKO

SINCE 1881